

No. 1617

エネルギーを大切に

—東京・横浜—

2月は省エネルギー月間です。

東京北の丸公園の科学技術館で2月1日から5日まで「エネルギーの有効活用展」が開かれました。

一般の人たちに省エネルギーの意識を高めてもらおうと会場には最新の省エネ技術・機器やシステムが展示されました。

場内では子供から大人まで参加して手近なエネルギーの力を測定できる自転車によるゲームが人気を呼んでいました。

日本にはエネルギー資源が少なく約80%を輸入に頼っており、その石油も採取が可能な年数は全世界で約40年という予測が出ています。

家庭や工場で私たちのくらしを支えるエネルギーを大切にしたいものです。

党首討論会から総選挙へ

—東京—

2月2日東京・内幸町の日本記者クラブで五党党首公開討論会が行われました。党首による公開討論会は昭和35年の池田内閣当時に行われた三党党首会談以来30年ぶりで五党首による討論会は初めてです。

海部自民党総裁は「新しい時代をどの体制でいくのか国民に選択してもらいたい」。とのべれば、土井社会党委員長は「自民党の財界からの献金の不透明さ」をつき、消費税廃止を主張。石田公明党委員長は「消費税より不公平税制が国民的課題」。不破共産党委員長は「消費税廃止、金権政治打破が国民の願いだ」。永末民社党委員長は「体制の選択が争点と国民は思っていない、自民党のごまかし」とそれぞれ主張しました。

国民注視の中で行われた与野党党首による公開討論は各党首の生の声で自らの考えを話し合った点では「開かれた政治」という政治改革への第一歩といえます。しかし論戦は焦点が拡がり過ぎ、深まりに欠け国民だけでなく出席者自身にも不満を残しました。

2月3日衆議院選挙がスタート。「体制の選択」を掲げて過半数を守れるのか自民党。「自民党長期支配打倒」を目指す野党。90年代の政治の進路を有権者に問う総選挙といえるようです。